

バリアフリー化率

重点整備地区におけるバリアフリー化を今後も実施

(1) 指標の動向

鳥取県内では、鳥取駅周辺をバリアフリーの重点整備地区と設定し、順次整備を実施
 平成15年末では、重点整備地区内でのバリアフリー化率は44%
 道路の整備だけでなく、視覚障害者用の信号設置(鳥取県公安委員会)、JR駅でのバリアフリー化(JR西日本)も各関係機関と一体的に整備を実施



バリアフリー化された歩道
 (鳥取市東町国道53号)

(2) 今後の取組(業績計画)

国道53号瓦町歩道の改良
 主要地方道鳥取鹿野倉吉線、県道西町鳥取(T)線、県道秋里吉方線の歩道バリアフリー化の実施
 以上の整備によりバリアフリー化率を向上

現在の値(実績)	44%
平成16年度の目標	59%

(1) 指標の動向

交通バリアフリー法(平成12年施行)に基づき、「鳥取市交通バリアフリー基本構想」の策定を行いました。この構想に基づき、平成22年度を目標に鳥取駅周辺のバリアフリー化を進めています。

平成15年末においては、鳥取駅周辺の重点整備地区内でのバリアフリー化率は、44%となっています。

バリアフリー化された歩道では、利用者から好評を頂いております。

バリアフリー化対象延長	14,360m
既整備延長	6,280m
平成16年度末バリアフリー化率	44%



高齢者・身障者にやさしい歩道の整備(段差、傾斜、勾配の改良)を進めていきます。

バリアフリー化の効果(利用者の声)～平成15年度達成度報告書より



鳥取市東町(国道53号)



(80代、女性)

私は、心臓が悪いので、勾配もゆるくなり、歩きやすくなって助かっています。
 また、以前は、歩道を歩くと舗装がガタガタと動くものがあり、時々つまずいて危ないと思っていました。今では黄色の点字ブロックとの境も平らになってすごく歩きやすいです。

以前に比べて、段差や勾配が少なくなって歩きよい。見た目はデコボコしているように見えるがつまずいたりということもなく、いい。雨の日も滑ったり水が溜まったりすることはない。



(60代、男性)

～安全で安心～ 【指標 - 4 バリアフリー化率】

(2) 今後の取組(業績計画)

バリアフリー化事業の推進

直轄国道

瓦町歩道舗装等を行い、段差、傾斜、勾配の改良を行うとともに点字ブロックの設置を行います。

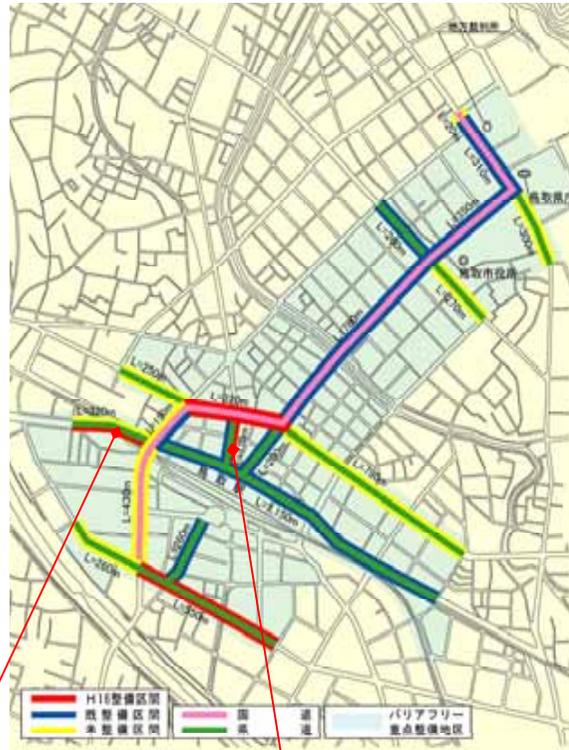
県道

主要地方道鳥取鹿野倉吉線、県道西町鳥取(T)線、県道秋里吉方線の歩道のバリアフリー化を行います。

バリアフリー化率

これらの整備により、バリアフリー化率は、現況の44%から59%まで向上する予定です。

重点整備地区バリアフリー化の状況



バリアフリー化対象延長	14,360m
既整備延長	6,280m
平成16年度整備延長	2,230m
平成16年度末バリアフリー化率	59%



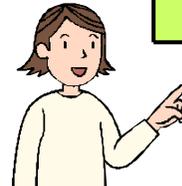
現在の鳥取鹿野倉吉線



現在の西町鳥取(T)線

1年後の目標

	現況値	目標
バリアフリー化率	44%	59%



本年度のバリアフリー化率についての目標は、59%まで向上させることとします。